

木々の若い緑の色が、立夏を過ぎて少し濃くなったような気がします。

市内の中学校では、すでに自然教室や修学旅行などの学校行事が始まっています。依然として感染症には十分注意を払いながら、朝明中でも着々と準備を進めています。

コミュニティスクール運営協議会開催



5月10日（火）、本年度第1回の朝明中学校コミュニティスクール運営協議会が開かれました。本校が「四日市版コミュニティスクール」に指定されて8年目に入りました。この日は、委員それぞれに委嘱状が手交され、正副委員長の選出、授業参観の後、学校の様子や今後の活動計画について話し合いがもたれました。新型コロナウイルス感染症拡大予防のための制約がある中で静かに授業に取り組む生徒の姿や新しい通学路の登下校の様子などについてさまざまな意見交換をしました。



今年度も「朝明中学校 学校づくりビジョン」実現に向け、委員の意見を積極的に取り入れ、教育活動の改善に取り組んでいきます。

過去2年間はコロナ禍のために開催回数を減らしたこともありましたが、今年度は例年通り、4回の運営協議会を予定しており、昨年同様にその中の1回は校区小学校との合同開催を計画しています。ビジョンの柱でもある「家庭・地域の信頼に応える学校づくり」に向けて開かれた学校づくりを一層推進し、地域や保護者とともに協働できる教育活動を展開していきます。

◆ 本年度の運営協議会委員のみなさん ◆

よろしくお願いします！

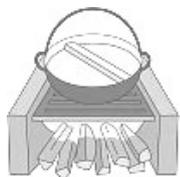
毛利 良一さん（委員長）、小崎万理子さん（副委員長）、伊藤 康子さん、伊藤 征雄さん、富田 由起さん、松永 忠幸さん、渡邊 義人さん

1年 自然教室 5.23~5.24

自然と向き合い、仲間と向き合い、自分と向き合う

いよいよ今月23日（月）から1年生の自然教室が始まります。これが今年度の大きな行事の幕開けとなります。学校では今、生徒が自分たちの手でそれぞれの行事を成功させるために着々と準備を進めています。

本校では、学校づくりビジョンの柱のひとつに「豊かな心の育成」を掲げています。その中の具体的な取組に「体験学習」があります。この自然教室は、感動体験と相互理解の構築をはかるための大きな機会となるでしょう。



自然の美しさにひかれ、畏敬の念を抱き、仲間や先生と過ごす喜びや心地よさを体感してほしいと願っています。そして、家を離れて過ごす2日間に、あらためて家族について、家族の中の自分自身について考える貴重な時間にしたいたいです。

いじめは絶対に許さない

本校では、いじめ防止のために、今まで学校が取り組んできたことや今後大切にしてい
く取組みについてまとめるとともに、事案発生時に対処できるよう、「学校いじめ防止基本
方針（朝明中版）」を策定しています。

残念ながら本校でも、昨年度、13件の「いじめ」と認識される事案があり、前年度より
4件の増加となりました。また、最近でも県内外でいじめに起因する悲しい出来事が起
こっています。これらの事実を十分にふまえ、本校でも「いじめはあるもの」という認識
のもと、いじめ根絶をめざした仲間づくりを進めていきます。

いじめ防止対策推進法の施行に伴い、平成25年度からは、いじめの定義を『「いじめ」
とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の
人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネット
を通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が
心身の苦痛を感じているものをいう。』（同法第2条）と定義され、「起
こった場所は学校の内外を問わない」とされています。

学校では、日頃より未然防止のための指導をこころがけ、子どもた
ちの小さなサインも見逃さないように定期的に小委員会で情報交換
や早期発見のための対策を含む研修会を行っています。いじめは心身の健全な成長や人格
の形成に重大な影響を及ぼし、生命、身体や財産に重大な被害をもたらす深刻な人権問題
であるという認識を持って、心無い言動にも十分に注意し、温かい信頼関係を築いていけ
るよう、しっかりと心がけていきます。



特に近年、SNSによるいじめが現代的な「いじめ」の様態として、大変深刻な問題にな
っています。SNSによる「ネットいじめ」の問題点は、匿名性が高く安易な誹謗中傷が可
能であり、被害者にも加害者にもなり得ること、早期発見が難しく不特定多数に早期拡散
が簡単にできることなどです。学校でもネットモラルを中心とした指導や講演を今年も計
画しています。

また、ご家庭でお子さまについて些細なことでも変化やお気づきの点がございましたら、
担任や学校にすぐにご相談ください。